

ヒメマツバボタン (姫松葉牡丹) 別名 ケツメクサ (毛爪草)

^{なまえ} ^{い み}
名前の意味：小さなマツバボタンの意味。よく似ていて小さなもの
には、^{ひめ} 姫という言葉をつけることがある。

^{ぶんるい} ^{そうしやうるい}
分類：双子葉類、スベリヒユ科、スベリヒユ属

(^{さいばいしよくぶつ}
スベリヒユ科の栽培植物：マツバボタン、ポーチュラカ)

^す ^{ばしよ} ^{みちばた}
好きな場所：日当たりのよい道端

^{ぶんぶ}
分布：本州、四国、九州

^{げんさんち}
原産地：熱帯アメリカ

^{とくちょう} ^{かべん}
特徴：マツバボタンにそっくりの姿、濃いピンク色の小さな花卉、

^{おお} ^み
白い毛に被われた実

^{しゅし} ^{はこ}
種子の運ばれかた：そのまま落ちる

^{かべん} ^{かず} ^{りべん}
花卉の数：離弁、5枚

^{はな} ^{じき}
花の時期：8—11月

^た ^{かた}
食べ方：食べられるけれどもおいしくない

^{みわ} ^{かた}
見分け方：マツバボタンは花が大きくてカラフル、実の回りに白い
毛がほとんどない。

^み
見つけやすさ ★★★★★

^{みわ}
見分けやすさ ★★★

^{そうごうなんいど}
総合難易度 ★★★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)